

JA Ichikawa

Recruit Book 2026

若い発想が、
農業の未来を動かす



eino keizaigyomu
ONO AYUMU



madoguchigyomu
MINAGAWA KANA



shogaigyomu
OKAMOTO HIROKI



「豊かな地域農業」を
振興します。

「活力ある地域社会」の
実現に貢献します。

「組合員の期待に応え」
愛され信頼されるJAを目指します。

JAいちかわの理念
Corporate Identity

JAいちかわは、
いのち ちいき かんきょう わ
生命・地域・環境・和
を大切にし、協同活動を通じて
地域社会に貢献します。

皆さん、こんにちは。JAいちかわは、都心へのベッドタウンである千葉県北西部を活動エリアとしています。この地域は、住宅地と農業が盛んなエリアが混在し、多様な暮らしと農業が共存しているのが大きな特徴です。

私たちは、地元の生産者と力を合わせて新鮮な野菜や果物の生産・販売に取り組むとともに、地域の皆さまと共に都市農業を守り、全ての組合員・地域の利用者の暮らしを支える協同活動を展開しています。また、これまでの協同活動にデジタルなど最新技術の力を融合させ、先進JAを目指しています。

ぜひ皆さんの若い力と新しい発想を、生かしてみませんか。私たちは、これからも地域と共に成長し、より良い農業と豊かな暮らしを目指して、新たな可能性に積極的に挑戦していきます。



市川市農業協同組合
代表理事組合長

今野 博之

Challenges

— 私たちの新たな挑戦 —

Challenge 1

ガルフード
(Gulfood) 2025に出展

2025年2月17日、アラブ首長国連邦 (UAE) のドバイで開かれたガルフード (Gulfood) 2025に当JAが出展し、「市川のなし」を世界各国のバイヤーにPRしました。

JAはこれまで国の農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に合わせ、13年からUAEに向けた梨の輸出事業に取り組んでいます。



Challenge 2

地域の新しいランドマークへ
行徳支店を建築中

行徳支店は2027年の完成を目指し建て替え工事が進んでいます。設計を担ったのは世界的建築家・隈研吾氏が率いる隈研吾建築都市設計事務所です。外観は木調でみこと、宿場町として栄えた行徳をイメージ。内装にも県産木材をふんだんに使っています。大会議室や料理教室などが入る予定です。



「船橋のなし」と「船橋にんじん」を使ったグミ

「市川のなし」を使ったグミ 株式会社不二家から発売

「船橋にんじん」を使った「船橋にんじんビール」

「市川のなし」を使った「梨ウォーター」 山崎製パンと共同開発

プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」とのコラボレーションで誕生した出荷箱

「市川のなし」を使った「千葉県産和梨 MIXのスムージー」 株式会社シャトレーゼが発売

Challenge 3

管内の特産品を
企業とコラボ

JAいちかわは特産品の付加価値向上やブランド化にも力を入れています。梨やニンジンがグミとして商品化しました。素材の食感やおいしさを楽しめます。地元プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」とは、「船橋にんじん」の出荷箱や「船橋にんじんビール」のラベルの制作を手掛けました。

INTERVIEW 01

eino keizaigyomu

問い合わせや相談には
迅速かつ的確に。
そのための努力は欠かさない



営農・経済業務

船橋経済センター
営農課
小野 歩
ono ayumu
(2019年入組)

営農・経済業務とは

営農技術や農業経営の指導を通して生産者がおいしい農産物を消費者へお届けするお手伝いをしています。肥料や病害虫防除、自然災害時の支援など農業に関するあらゆる相談にお応えします。また、地域性を生かした販売ルートで出荷量の確保と価格の安定を図るとともにJAいちかわの特産物を使った商品開発や販売拡大などPR活動を積極的に行っています。



休日の過ごし方

登山とキャンプでリフレッシュ

登山やキャンプ、スノーボード、サーフィン、釣りなど多彩な趣味を持つ。「休日思いっきり楽しみ、次の仕事への英気を養う」がモットー。



山頂の景色は最高!

ハンモックでゆったり休み



質問に答えます

Q JAで働きたいと思ったのはなぜですか

大学では援農サークルに所属していました。生産者の畑に向き農作業を手伝う活動です。2016年に発生した熊本地震の際には、被災地の復興にも携わりました。農作業に従事する中で地域農業に密接に携わるJAに興味を持ちました。

Q 現在の業務内容を教えてください

窓口・電話応対、見積もりや請求書の作成、農業や農業資材の販売・発送、イベントの運営など多岐にわたります。今年、米の検査ができる資格を取得し、初めて現場に立ちました。さまざまな業務を担当するのがJAの魅力の一つです。

Q 仕事で心掛けていることは

まず、店舗を訪れる方への真摯(しんし)な対応が最も重要だと思っています。組合員の要望は農業や肥料のこと、申請書類のことなどさまざま。農業一つ取っても害虫や病気によって適応する薬剤が異なるので、すばやく的確に応えられるよう努力したいです。

Q どんな職員になりたいですか

これまで米検査の他に、フォークリフト、中型自動車免許、毒物劇物取扱責任者の免許や資格を取得しました。来年、営農指導員の資格を取得したいと考えています。日々勉強して専門的な知識を深め、業務に生かしたいと思っています。

Q どんな時に仕事にやりがいを感じますか

やっぱり組合員の方々に感謝された時です。日頃から農業や肥料などについて、多くの要望や質問を受けます。JAは組合員との距離が近く、互いに顔や名前も知っているの、「助かった」「ありがとう」と言われると仕事への意欲が湧きます。

さまざまな業務を担当できます



愛用品のバーナー



暖房だけでなく調理にも使える優れものです



思い切り楽しみたい

専門的な知識を深め感謝される職員になりたい

“お客さまにも職員にも、
お役に立つ”を大切に



窓口業務

菅野支店
業務課
皆川 加奈
minagawa kana
(2022年入組)

窓口業務とは

貯金のお入金・振り込み・税金の受付をはじめ住宅や車の購入のための融資をする信用事業、万が一の病気やけが・災害に備えて保障を提供する共済事業の接客がメインです。窓口業務はJAいちかわの顔です。来店者にとって窓口職員の印象や対応がJAいちかわのイメージとなります。こまやかな気配りで組合員・地域の皆さんにより良いサービスを提供しています。

1日の流れ

朝礼 8:30	開店 10:00	11:30	12:30	15:00	16:45
前日預かりの 処理 開店準備	窓口対応 電話対応	昼休憩	窓口対応 電話対応	現金・伝票の精査 事務処理 翌日の準備	退勤



質問に答えます

Q 職場の雰囲気を教えてください

支店職員は12人います。みんな仲が良く楽しいです。職員同士、会話を通じて情報交換し個々の業務に生かす体制が自然にできています。普段から助け合ったり教え合ったりしているので、自分が成長できると感じる職場です。

Q どんな職員になりたいですか

お客さまに感謝される職員です。先日、同じ窓口の後輩職員と連携して振り込み詐欺を防ぐことができ、感謝されとてもうれしかったです。日頃の窓口業務でもお客さまのニーズに合った提案を心掛けています。

和気あいあいとした
楽しい職場です



Q 業務で心掛けていることは何ですか

お客さまだけではなく、支店職員の皆さんにも感謝される仕事をしたいと思っています。そのためには準備や確認をしっかりと行い、お客さまのニーズに合った提案や支店全体の業務効率化につながれば、自分の仕事にもプラスになると考えています。

Q 目標を教えてください

窓口業務を担当していますが、融資などまだ手掛けたことがない分野もあるので挑戦したいです。これまで、JA職員資格認証や証券外務員の資格を取得しましたが、さらに勉強して、できる分野を広げたいです。

Q JAに入ったきっかけは

祖父が組合員で小さい頃から家にJAの方が訪問していました。遊んでもらったこともあり身近な存在でした。就職活動の際にも心構えなど、さまざまなアドバイスをもらって、組合員の役に立てるJAに興味を持ちました。

休日の過ごし方 ピオラ、 JA野球部の試合観戦

ウサギの世話やゲーム、資格の勉強、JA野球部の試合観戦など。ピオラは中学から始め、今でも依頼があれば楽団に加わり演奏会で弾いています。

愛用品



ピオラは中学生の時から弾き続けています

演奏会も楽しんでいます

準備と確認をしっかりと。責任ある仕事への第一歩です

お客さまのことだけでなく、ご家族の未来も見据えたい



渉外業務

田中支店
渉外課
岡本 弘輝
okamoto hiroki
(2021年入組)

渉外業務とは

営業車で組合員・地域の皆さんのところへ足を運び、それぞれのライフプランに合った提案をしています。貯金や融資、共済、年金や相続の相談はもちろん、一方では農業の話、家族の話、趣味の話といったように会話の内容はさまざま。一般企業とは違いJAならではの信頼関係を築くことができ、より身近な立場でニーズにお応えし悩み解決のお手伝いをしています。

1日の流れ

朝礼 8:30	帰店 12:00	帰店 13:00	帰店 15:00	夕礼 16:45
実績などの確認、訪問予定先の確認 集金・推進などの営業活動 集計作業	昼休憩	貯金・共済などの 営業活動	集計作業 翌日の訪問予定の 準備	退勤 (野球部の練習)



質問に答えます

Q 普段の業務内容を教えてください

渉外業務なので、ほぼ1日外回りです。1日15～20件の組合員宅を訪問します。貯金、共済の紹介や提案、肥料・農薬の販売など幅広い業務に従事しています。組合員の方に名前と顔を覚えてもらうため、月に1回は訪ねるようにしています。

Q 業務で心掛けていることは何ですか

貯金や共済は組合員本人だけでなく家族の未来の生活に直結します。そのため訪問する際には、家族構成や年齢なども聞くようにしています。日頃の訪問の積み重ねがそれぞれのご家族に合った提案につながります。

Q JAの強みをどんな時に感じますか

私が生まれるずっと前からJAは存在していました。組合員とJAとの関係は、世代を超えた信頼感でつながっていると強く感じています。この信頼に応え次代にそのバトンを手渡せるよう、日々の業務に取り組んでいます。

Q 渉外業務で良かったと思ったことは何ですか

組合員の生活や営農に役立つ提案をして喜んでもらったときはすごくうれしいですね。訪問を重ねると業務以外の相談を受けることもあり、それがやりがいになり仕事にも力が入ります。

Q 先輩からのメッセージはありますか

入組前は農業の知識はなく、JAのさまざまな業務が自分にできるか非常に不安でした。しかし、業務に打ち込みながら組合員の方や職場の先輩から学んでいます。転職が多い時代ですが、ずっとこの職場で働くという強い気持ちを持ってほしいです。

渉外はやりがいのある仕事です



休日の過ごし方

野球とスノーボード 同期と食事

JAの野球部に所属し休日は練習、試合に明け暮れています。今年からキャプテンとしてチームを引っ張っていきます。



同期と食事
いつもより贅沢

冬はスノーボードで汗をかく



愛用品



その日の調子によってグローブを替えています

休日は野球漬けの日々



組合員との世代を超えた信頼関係は、かけがえのない財産です。

野球部の紹介

地域に応援されるチームに

JAいちかわ野球部は、組合員や地域住民にも広く知られている伝統あるチームです。全国大会を目指して土・日を中心に練習に励んでおり、甲子園出場経験者も在籍しています。役職員にOBも多く組合員や地域住民、JAも一体で活動を支援しています。

絶対に流れを渡さない

まだまだここから

守りから
流れをつくるぞ

乗ってきたぞー

流れ来てるぞ

JA ichikawa
Baseball club

一緒に
全国大会を
目指そう



60年を
超す
歴史
1963年～

1993年
高松宮賜杯
全日本軟式
野球大会出場

愛知県で開催された高松宮杯の全国大会に出場。応援に、職員たちがバス2台を連ねて来てくれた。

2012年
東京ドームで
アークカップトーナメント
決勝戦 優勝

1,200人の応援団を繰り出して優勝した。「ここでヒット打ったら共済に入るぞ」や、「三振したら貯金下ろしちゃうぞ(笑)」などのやじが飛んでいた。選手と組合員・利用者が一体となることができた。

2017年
5月
第76回全国農機
野球大会 優勝
11月
市川市野球大会
特A級 優勝

2018年
紅龍旗争奪第68回
実業団野球全国
大会出場 東京ドーム
↓
2025年
市川市野球
大会特A級 優勝

interview

全国大会出場を 目指して

JAいちかわ野球部監督
行徳支店渉外課課長
藤代 拓磨 監督
fujishiro takuma
(2009年入組)

監督に就任して2年目。若くて元気なメンバーがそろっています。野球部の伝統である「後輩の面倒をしっかりと見る」を基本に、1人1人が考え行動するチームを目指しています。

職場にはOBも多く、明るく団結力があるチームカラーが職場にも根付いていると感じています。

野球未経験の方も熱意があればぜひ野球部に入ってほしい。

組合員の方々をはじめ役職員も球場で応援してくれて、とても励みになっています。目標は全国大会である国体、天皇杯への出場。これからも地域の皆さんに喜ばれ活性化につながる野球を志していきたいと思っています。



施設・ 設備の紹介



時には野球の
練習場にも
大会議室

本所5階の会議室は普段、会議・研修などに使われていますが、野球部がキャッチボールや素振りをする場としても重宝する多目的会議室です。



ランチを
みんなで楽しく
ラウンジ

ランチや打ち合わせなどに幅広く活用されています。注文すればお弁当も届けてくれます。職員が集い楽しい時間を過ごしています。



人気の
「アイス食べ放題」
ラウンジ

JAとシャトレーゼは加工品の製造・販売などで連携しており、同社のアイスが常備されています。仕事の疲れを忘れるおいしさです。

女性が活躍できる職場を

JAいちかわでは、支店窓口などで多くの女性職員が活躍しています。女性支店長も珍しくありません。女性職員は「アットホームな雰囲気」「分からないことも親切に教えてくれる」と話し、やりがいを持って業務に取り組んでいます。育児休暇や勤務時間短縮などの制度も整備され、制度を活用して働き続ける職員も数多くいます。

支店長のような職員になることが目標



知識を増やして幅広く活躍できる職員になりたいです



訪れた組合員の笑顔や感謝の言葉がやりがいにつながります



子育てしやすい制度が整っており、女性でも安心して働くことができる職場です



いろいろな業務を任せてもらえるので達成感があります



子育て支援

- 産前産後休暇 ● 配偶者出産休暇 ● 育児休暇
- 時短勤務 5時間、5時間30分、6時間から選択可能(未就学児)
- 子の看護休暇 (年5日、2人以上10日) 小学校3年生まで
- 養育両立支援休暇 (年10日) 小学校3年生まで
- 年次有給休暇 時間単位での取得可能
- その他 結婚休暇、服喪休暇、褒賞休暇、介護休暇などあり

訪れたお客さまに笑顔で帰っていただける接客を心掛けています。



interview

自分らしさを大切にする職場



浦安支店
村松 美砂 支店長
muramatsu misa

令和6年から浦安支店で支店長を務めています。職員12人のうち8人が女性です。風通しが良くお客さまの目線に合わせた職場を心掛けています。こまやかな気遣いや、相手に寄り添う接客に女性の力は欠かせません。

JAは営農、貯金、共済など数多くの業務があり、「自分らしさ」を大事にする職場です。私も入組以来、7支店で貯金や共済などさまざまな業務に携わり、経験の幅を広げてきました。自分が持っている能力を生かし伸ばせる組織です。

interview

大切なのはやる気と熱意



豊富支店
渡邊 千恵美 支店長
watanabe chiemi

支店職員は男性8人、女性8人の16人です。明るく元気の職場を目指し、ワークライフバランスが充実するよう心掛けています。

JAには男性だから、女性だからといった考えは一切ありません。やる気と熱意があれば誰にでもチャンスがあります。家庭や育児といった悩みも育児休暇などサポート体制が充実しています。女性も働きやすい職場です。

どんな仕事も一生懸命に、そしてどうしたらできるのかを考えて取り組んでほしいと思っています。

イベント・取り組み



感謝祭

「地域の絆を大切に」をテーマに毎年感謝祭を開いています。管内農産物や飲食物、「市川のなし」の加工品などを販売します。組合員や地域の利用者が多く訪れます。



防災井戸

近年多発する自然災害に備え、長期間水道が使えなくなった時に地域住民に飲料用を除く生活用水の提供を目指します。本店の他、豊富支店と田中支店にも設置。さらに全支店への設置を目指し、順次調査を行っています。



国産梨花粉供給事業プロジェクト

2027年からの梨花粉供給を目指し、全国で初となる梨花粉専用圃場(ほじょう)の整備を進めています。組合員が国産花粉を使った純国産の梨生産体制の確立を進めていきます。



感謝の集い

組合員・利用者への利益還元事業の一環として、毎年「感謝の集い」を開いています。2025年は東京都千代田区の東京国際フォーラムAで川中美幸さんのコンサートを楽しんでいただきました。



◀ Instagramはこちら



◀ 採用の情報はこちら